

ともしび

院長通信

最近気になった話題をいくつか取り上げてみましょう。

雑誌「プレジデント」に掲載された記事で、精神障害者の雇用義務化について意見が述べてありました。7月16日号のなかで「編集長から」というコラムで、「幻覚を見て、何を言っているかわからない人」と一緒にどうやって仕事をするのでしよう。という記載がありました。このことについて日本精神科病院協会から抗議文を提出しています。抗議内容は、「症状の一部だけを取り上げた偏った説明」、「精神障害者の社会復帰の道を閉ざし、路頭に迷わせかねない。」というものです。我々精神医療福祉にたずさわっている者からすればこの抗議文はもつともだという気持ちですが、一般の人たちのツイッターをみると、コラムの意見に賛同する人たちが約85%くらいでした。なかには、国でやるべき対策を民間に責任転嫁している、というもつともな意見もありました。雇用義務化される「精神障害者」とは精神障害者手帳を持っている者のみと考えられ、

第036号
発行
両毛病院
編集 広報委員会

実際の精神障害者社会復帰対策として実効あるものになるかどうかははなはだ不透明です。手帳を持っていなくても社会復帰に苦労している精神障害者がたくさんいることを国は認識すべきです。また、なかなか一般就労にたどり着くことが出来ない障害者に対するきめの細かい社会復帰対策も求められています。精神障害者の雇用義務化を法制化したことで国の責任を果たしたと思われてはかたがたしません。

橋下徹大阪市長が朝日新聞社関係者に対して怒っているやりとりをみて、「ルポ・精神病棟」を思い出しました。朝日新聞の記者がアルコール依存症をよそおって、ある精神科病院に入院（潜入）したもので、その病院の対応を批判する内容です。いかにも精神病院「悪」という作為を感じました。精神科の診断（入院）は本人または家族からの自己申告を中心として行われるもので、本人および家族がグルになつて病気を訴えてこられたら仮病を見破るのはとても困難です。マスコミに作為はつきものとは思いますが、前院長洋一と私は「ルポ・精神病棟」以来朝日新聞は見なくなりました。

第325号 院長 秋山 一郎

『院長講話に参加して』

5月の院内研修会は、秋山一郎院長による講話で、両毛病院の半世紀の歩みと統合失調症の患者さんの福祉法、そして精神科医療の今後について話されました。

両毛病院は精神科病院として栃木県内3番目の昭和2年に開設され、今年創立84年を迎えます。

初代院長の秋山洋一先生は、当時東京に行かなければ治療ができなかった、進行麻痺の原因である脳神経梅毒の治療（マラリア発熱療法）を佐野で始め、その後戦時の苦境を乗り越えながら精神疾患の患者さんの治療にあたりました。

2代目秋山洋一先生は、昭和35年の院長就任当初から精神科病院の開放化（地域に向けての病院の開放）に取り組み、その理念は「佐野の町は病院の庭」の言葉からもうかがえます。昭和40年から50年代にかけては、レクリエーション療法や院外作業療法など盛んに行われた時代でした。

統合失調症の患者さんに関する福祉法は、平成5年に制定された『障害者基本法』によって障害者としての法的に位置づけられ、身体障害者や知的障害者の仲間入りをしました。

障害者基本法を受け平成7年精神保健法が改正されて『精神保健福祉法』となり、障害者の自立と社会経済活動への参加が盛り込まれました。

平成18年これまでの身体、知的、精神障害の福祉体系が見直され、市町村を中心として障害者の地域生活への移行や就労支援事業が加わった『障害者自立支援法』が生まれました。しかし福祉サービスの利用に応じての自己負担増の問題や、3つの障害に対してこれまでのように一元化された支援のあり方でのよいのか、課題も多いことから自立支援法に代わる新たな法律『障害者総合支援法』が平成25年4月から施行されることになりました。

次期医療計画においては平成25年から、従来の4疾病5事業（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）に精神疾患が追加され、5疾病5事業となることが決まりました。新たに精神疾患が追加された理由として、統合失調症の患者さんの地域ケアのさらなる推進や自殺の問題も含めたうつ病の対策そして、高齢化に伴って急増している認知症対策など精神疾患が他の疾病と同様に重要視されたことがあげられます。

今後は都道府県ごとに、地域での医療連携体制が強化されます。たとえば単科の精神科病院と精神科をもつ地域基幹病院そして地域の福祉施設などが連携をして、精神科医療に取り組んでいくことも考えられます。

秋山洋一先生の「佐野の町は病院の庭」という理念は半世紀以上経った今日にいたっても変わることなく、私達もこの理念をもって精神科医療に携わっていきたいと思います。

薬剤師

皆さん、良い顔してました

今年もお花見の時期、お天気、開花とにらめっこ。暖かな日となった4月18日、花びらの散っている木もありましたが、草木の緑が鮮やかな秋山川近くの公園へ行って来ました。

心地よい空気に触れ、キャッチボール、バレーボール、バドミントンに汗している患者さんもありました。広々とした場所で運動できることは、やっぱりサイコーですよ。そして、喉を潤す飲み物とお菓子タイム。いつにもまして患者さんのほころぶ笑顔が、私達職員にも笑いを誘ってくださいました。患者さんと過ごしたひと時、皆さんのすがすがしい顔が見え、とても楽しかったです。

春を感じる事のできた恒例行事。患者さんの笑顔が見られたことで、行事の大切さが改めて実感出来、良かったと思います。

アシスタントナース



大藤に感動!!

5月15日、足利フラワーパークに行ってきました。天気は、あいにくの雨でしたが、車の中は笑い声であふれていました。

パークに着き、園内に入ると雨にぬれた花々が咲き乱れていました。

その中でも、紫色の大藤には感動。枝がすごく長く、その枝に咲く花房の長さにおどろきました。黄色・白色藤のアーチにも感動しました。

花を見終わったら次は、デザート。ほとんどの患者さん達が美味しそうに食べていました。

外の気温は、ちょっと肌寒かったのですがみんなの笑顔を見ると、寒さを忘れられた一日でした。

アシスタントナース



グルメツアーで過ごすひとと

6月12日、3階病棟レクで、去年の秋以来患者さんの希望が多かった足利市の『ステーキ けん』へ行って来ました。

アツアツのステーキ登場に顔もほころび、皆さんワイルドに食べていました。それだけでは終わりません。

サラダバー・カレー・デザート・うどん他食べ放題となっていて、これも魅力の一つ。さらに今回は、ドリンクバーもつけて満足度は100%!!

「もうお腹いっぱい」とバスの中でも笑顔が続き、「秋にまた来たい」との声も出ました。食事の後は、弁天様に一休み。病棟へ戻ると、「今日は、行きたかったなあ」と残念そうに話していた患者さんもありました。

グルメツアー・プチドライブで心と体に栄養をつけ、リフレッシュできた一日でした。次回のグルメツアーはどこでしょうか? ミステリー。

看護師



青空の下でのレクリエーション大会

5月29日にレクリエーション大会が行われました。雨が心配されていましたが、大会中はすっきりと晴れて、とちのみ学園の皆さんと共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

準備運動、じゃんけんゲーム、幸運のイス、パン食い競争と進むにつれて会場もどんどん盛り上がり、なかなかパンを取れない人へ応援の声がかかったり、やっとパンを取れた人と会場の人と一緒に喜ぶ声などが聞かれました。玉入れで汗を流した後は休憩時間となり、その後は職員・患者さんみんなが輪になってフォークダンスを踊ったり、3人で1本の棒を持って走る棒回しリレー等の競技を行いました。

どの競技中も患者さんの楽しそうな笑顔が見られ、ケガをする人もなく、とても良いレクリエーション大会でした。来年もお天気に恵まれて青空の下で開催出来ることを願います。

事務



美味!!虹のバーベキュー

『虹の里』のレクリエーションとして、5月23日、バーベキューが行われました。大盛況だったということで、参加されたメンバーさんたちにインタビューをしてみました!

『バーベキューは楽しかったですか?』
「楽しかったです!」「でも雨が降っちゃったんだよね」「降ったけど、テントがあったから大丈夫だったよ」

『お肉はどうでしたか?』

「ちゃんと焼けたよ」「牛肉がおいしかった」「野菜もいっぱいあったよ」「にんじん、玉ねぎ、もやしもね!」「お肉だけじゃなくて、焼きそば、やきうどんもおいしかった」

『豪華なメニューですね!次は何が食べたいですか?』

「イカ焼きとか食べたいな」「イカ焼きおいしそうだね」「いいね!」

『つぎのバーベキューも楽しみですね。皆さん次回も参加しますか?』
「はい!!」

とても楽しくおいしく素晴らしい時間を過ごしたようです。虹の里メンバーの皆さん、これからも虹の里の活動をがんばってください!

アシスタントナース 小林 祐介

デイケア一泊旅行に参加して

今年のデイケアの旅行は伊香保に決まり、どんな温泉なのか? バイキングで何が食べられるのか? ワクワク・ドキドキしていました。

当日は天候にも恵まれ、割合早い時間にホテルに到着しました。温泉に入り部屋の仲間とくつろいでいました。

バイキング会場では、おいしそうな食べ物がいっぱいあり、目をつりしてしまっ程でした。まっ先にギョーザとシューマイにかぶりつき、お腹いっぱい食べられ、またその後はカラオケに行き数曲歌い楽しかったです。なんとと言っても無料なので心いくまで過ごすことが出来ました。水沢観音も良かったです。来年もぜひ参加してみたいと思います。デイケアの旅行は、自分の中では年中行事のひとつになっています。

DCメンバー I・K



次の大会は優勝だ!

「ボンバーズがんばれ!負けるなボンバーズ!!」ボクは大きな声で仲間のチームを応援した。

9月21日の安足地区ソフトバレーボール大会に参加しました。両毛病院からはチャールリーズエンジェル、ボンバーズ、ジェントルメンの3チームで、他の施設も合わせて全部で17のチームが大会に出場しました。

ボクのチーム名はジェントルメンで、初戦の相手は前沢病院の前沢ピング。試合中は緊張することもなく4人で力を合わせて1回戦を突破。しかし、2回戦はブローニユの森のハッスルこまちに残念だけど負けてしまいました。その後は仲間のチームを応援。そしてボンバーズが見事に敢闘賞を受賞しました。

この大会でボクは沢山の友達と交流ができました。そしてソフトバレーボールは若い人や年輩の人達もプレイできる、楽しいスポーツでした。次の大会は、10月5日に宇都宮市であります。今度こそ、みんなで力を合わせて優勝したいです。

3病棟 J・M



願いをこめて

7月3日、恒例の七夕会が作業療法室にて行われ、沢山の患者さんが参加されました。当日はゲームや紙芝居の他に、笹の飾りつけをしたりと、この時期ならではのイベントを楽しみました。

作業療法室では、七夕が近づくと飾りや短冊の準備を患者さんで行っています。子供の頃は無邪気に書いた短冊も、大人になると難しいものです。皆さん時間をかけ言葉を書き込んで行きます。「退院できます様に」「健康に過ごせます様に」といった願い事が多く、中には「皆さんが幸せに過ごせます様に」と書かれる方もいらつしました。ちなみに私は「一攫千金」という欲たつぷりの短冊をそつと目立たない場所に飾るのでした。

作業療法士



夏だ!! 花火だ!! 盆踊り!!

8月7日に毎年恒例行事、盆踊り大会が行われました。昨年は途中から雨に降られてしまいました。今年も天候にも恵まれて、浴衣姿で夏の風物詩を楽しみました。

患者さんの中には何度も矢倉に上がり踊っている方もいて、踊りがへたな私は、ただただ感心して見ていました。患者さんの中にはアイス売り場に一直線、スイカがでると我先に!とそれぞれの楽しみ方があるようでした。

今回職員之余興時、写真のお手伝いをしましたがカメラのピントが合わず皆の晴舞台を写真に残せない! 大変!とあせってしまい、楽しみにしていた両毛八木節をゆっくり聞く事ができず残念でした。

最後は夏の夜空に上がる打ち上げ花火に感動し、癒しを得て終わる事ができました。

事務



心を一つに...

7月11日、宇都宮市体育館にて日精看バレーボール大会が行われ、当院からは2チームが出場しました。

私達はこれまで、本大会で勝利することを目標に、手のかじかむ冬の寒い日も、汗の様に汗の流れる夏の暑い日も毎週練習をしてきました。

私にとつて、今回が初めての大会だったこともあり、熱気溢れるチームが沢山集まった会場の雰囲気にも緊張と不安でいっぱいでした。

この様な状況の中、あつという間に初戦を迎えました。試合開始直後は思うように体が動かず、手に汗握る瞬間もありました。しかし、試合を重ねるにつれ、仲間の応援にも熱が入り、励まされ、コート内には笑顔が見られる様になりました。

仲間の団結により、両チームとも決勝トーナメント進出を果たしました。決勝トーナメントでは、惜しくもあと一步のところで勝利を逃がして4位と6位の成績でしたが、ここまで来れたのは、チーム一丸となって支え合い、協力し合えたからだと思います。

チーム全員で汗を流し、負けた悔しさや勝った喜びを感じ合えたことは、とても貴重な経験で、私の大切な宝物となりました。来年は、今年の成績を上回る結果を残せるよう頑張りたいと思います。

薬局アシスタント

イルカナシカオーシャンライブ

9月11日、年間レク企画委員会による日帰りドライブが行われました。天気は曇一つない晴天に恵まれ、バスに乗り茨城県のアクアワールド大洗へ行ってきました。バスを降りると海が見え、皆さん目を輝かせて喜んでいました。

水族館では、マンボウやサメなど多くの魚がいて大変驚いていました。イルカとアシカのショーでは、イルカがジャンプする度に拍手と歓声が起こり、とても楽しかったと話されていました。

昼食は握り寿司を食べ患者さんからは「本場の寿司は新鮮で、とても美味しかった」と舌鼓が聞かれました。

とても楽しい企画となり患者さんには笑顔も見られました。また機会がありましたら参加したいです。

看護師



デイケア就労支援グループ

障碍(がい)者雇用促進法により、事業者に対し従業員数の一定比率(8%)で障碍者を雇用するようにと義務づけられました。しかし、精神障碍の領域では身体・知的障碍に比べ雇用率が低く、就職が難しいとされています。

その為、当院デイケアでも就労支援プログラムとして「就労グループ」にて活動しております。就労グループでは「仕事をしたい!」と日々思いながらも本当に就労できるか悩んでいるメンバーさんが沢山いらっしゃいます。そういう悩みをもった方達が集まっているグループです。

活動内容ですが、集団と個別に分けられます。まず集団での活動は、当院の事務部長を招いての履歴書講習会や面接技法、ストレス対処法、パソコン演習などです。そして、個別での支援では、就労支援スタッフと共に考え、その人らしい生活ができるよう就労生活に向けてプランをたてます。そのプランに応じ希望職種に合わせた職業体験や職親制度を用いた職業訓練、院内軽作業訓練、職業安定所への同行等を行います。

就労したくても自信がなくて諦めている方、就労には様々な方法があります。もし興味があれば、ご相談をお待ちしております。

作業療法士

有意義だった家族会

8月18日、2階会議室にて、家族会第1回勉強会を開催し、統合失調症の薬物療法を中心に説明させていただきました。

統合失調症は希な病気ではなく、また、遺伝、ご本人の性格、育て方によるものではない事、主な症状、精神療法、薬物療法、リハビリテーション療法が治療の3本柱であり、組み合わせる事によってより高い治療効果を期待している事を伝えました。

薬物療法の説明では、病気の症状に対する薬剤とその効能効果、薬の様々な剤型を実際に見ていただき、それぞれの特徴や飲み合わせ、また、新規採用薬についても紹介しました。その他服薬時に気をつける点(たばこやアルコール)、継続して服薬する事により再発防止効果がある事、規則正しく服薬する為の工夫についても提案しました。

日頃、家族の方と話す時間がなかなかとれませんが、熱心に聴いていただき、有意義な会となりました。今後も家族会を通じ、病気への理解と、ご家族同士の交流を深める場として活用していただけたらと思います。

薬剤師

念願のユニフォームに思いをのせ

佐野市秀郷まつり・フットサル大会に出場して、良い成績を残したいという数ある目標の1つのため、日々練習試合を行い8月11日(土)大会に挑みました。

去年よりも違っていることは、日々の練習のおかげで個々のレベルが上がっていること。チームメイトが増えたこと。そして、なんとと言ってもユニフォームが出来たことです。

本番当日、家でユニフォームを着た時にいつもと違うという気持ちがありました。フットサル場に到着してそれが何なのかわかりました。それは、コートの中に入った時、日々の練習のおかげで自信が付いていたというのがあります。みんなと一緒にユニフォームを着ていることで我々は強くなっているという思いを確信しました。

その想いの中、試合が始まり、一人一人がみんなのために持てる力を出し、励まし合った結果、去年は予選・順位決定戦を合わせて1勝しか出来なかったのが、予選の数試合で2勝を上げ、一時は予選を1位か2位で通過出来る所までがんばりましたが、健闘およばず予選通過は出来ませんでした。

残念な結果になってしまいました。が、今回大切な物を得ることが出来ました。それは自信です。チームの

連携は他のチームにも劣っていません。中々勝てなかったのは実力があるのにそれを出せずにいたからです。念願のユニフォームが出来たおかげで、それがきっかけとなり自信を持てるようになりました。これからもみんなとこのユニフォームと一緒にたくさん喜びを分かち合っていきたいと思えます。

事務

病院からのお知らせ

【外来診療の土曜日開催について】
7月から土曜日の外来診療を月2回開催しています。

11月は、10日と24日
12月は、8日と22日

となっております。

担当医師は、秋山 伸恵 医師
受付時間・診療時間は平日と変わりありません。

【外来診療のご案内】 診療科目 **精神科・内科**
 受付時間 初診 午前 8:45～11:30
 再診 午前 8:45～12:00
 診療時間 午前 9:00～12:30
 (専門外来 毎週水曜日 午後 2:00～)

- * 外来診療 月～金・月2回の土曜日(土曜日の診療は、電話にてお問い合わせ下さい)
- * 外来診療は予約制になっておりますので、初診の方も事前にご予約をお願い致します。
- * 当日受付も遠慮なくご相談ください。
 その他、ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

【外来担当医師表】

	初診・当日受付	予約再診	予約再診
月	秋山 伸恵 (初診)	高山 晃司	
	秋山 佳子 (当日受付)		
火	佐々木 美和子	秋山 佳子	山本 卓二
水	秋山 恵一	秋山 伸恵	中村 晃士 1
木	山本 卓二	秋山 伸恵	大越 麻加
金	高山 晃司	佐々木 美和子	
土	秋山 伸恵		

1児童・思春期・発達障害専門外来
慈恵医大講師 中村晃士 医師
 毎週水曜日の午後、18歳未満で下記のようなお子さんのご相談、診療を行っておりますので、電話にてご予約をお願いします。

- ・情緒不安定
- ・不登校
- ・幼稚園、保育園、小学校などで落ち着かず、問題行動が見受けられる

【交通のご案内】

- * 自動車でお越しの方
 佐野田沼IC(北関東自動車道)より7分
 佐野藤岡IC(東北自動車道)より15分
- * 電車でお越しの方
 佐野駅(JR・東武)よりタクシーで5分
 堀米駅(東武)より徒歩7分

【編集後記】

『平成ともしび』36号は、本来8月10日発行予定でしたが編集の都合上、11月10日号との合併号とさせて頂きました。8月10日発行で記事頂いた分については、多少の時差があるかもしれませんが、ご了承下さい。また編集に際しまして、患者さんの写真や記事につきましては、患者さんご本人やご家族の方の了解を頂いております。

医療法人 秋山会

R 両毛病院

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1648
 TEL 0283-22-6150 FAX 0283-22-6159
 ホームページアドレス <http://www.ryoumoubyouin.jp/>
 <広報委員会>

